

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
ベーシックスキル2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	広瀬眞之			実務 経験	有	職種	ミュージックアーティスト科作品研究講師				
担当教員紹介											
ジャズギタリスト、コンポーザー。1979年にCBSソニーからレコードデビュー。1989～90年渡米。帰国後はDAW分野でも活動を始めナンジャタウン音楽、TV番組音楽などを制作。近年はcotoricoプロジェクトや自社レーベル運営などプロデューサー活動も多い。著書に“ジャズ100年史”“Professional MIDI Tips100” など。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、ダンスを職業にする為に必要なストリートミュージック、クラシックミュージック、ポピュラーミュージックなどの音楽的知識やダンスの歴史を幅広く学び音楽に対する理解力と造詣をを深める。											
到達目標											
講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。											
授業方法											
この授業では、音楽への造詣を深める為の各テーマにそった音楽の歴史を学ぶ講義と、実際に映像を使って作品を鑑賞する事でより感覚的に知識を身に付ける授業を行う。またディスカッションや、授業後半で振り返りレポートを作成する事で理解力を深める。											
成績評価方法											
試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する									
レポート	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回動画を配信する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	フリースタイルの表現3/前回授業の内容に基づき、各グループのフリースタイルについて発表を行う										
第2回	舞台表現の中でのダンス、求められるスキル①										
第3回	舞台表現の中でのダンス、求められるスキル②										
第4回	オーディションに受かるためのダンスとは、を考える										
第5回	ソウルミュージック、ディスコミュージックの歴史										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
ベーシックスキル2	
第6回	R&B、R&B HIPHOPの歴史
第7回	現在のキッズダンスのレベルを知り、指導者になった際に必要なスキルを考える
第8回	現在の部活動でのダンスの現状を知り、指導者になった際に必要なスキルを考える
第9回	オーディション用の見せ方を考えてみる
第10回	オーディション用のパッケージを作る
第11回	ハウスミュージックの歴史やヨーロッパのダンスシーンを研究する
第12回	エンターテインメントの代表的なジャンルであるJAZZダンスの歴史を総括する
第13回	クラシックへの造詣を深める
第14回	世界的にも最も人気のあるジャンルとなったHIPHOPダンスの歴史を総括する
第15回	現在メディアで必要とされるダンサー像をポピュラーミュージックの歴史から学ぶ